

西明石駅南口まちびらき 市長メッセージ

このたび、JR 西日本とともに、この記念すべきまちびらきの日を迎えますことを、心より嬉しく思います。また、本事業の推進にご尽力いただいた関係者の皆様、そして長きにわたり地域のまちづくりを支え、ご理解とご協力をいただきました地域の皆様に、厚く御礼を申し上げます。

明石市とJR 西日本は、2019年9月26日に、鉄道沿線の「駅を中心としたまちづくり」に関する包括連携協定を締結し、「いつまでも」「すべての人に」「やさしい」まちづくりの実現を共通の理念として、連携を深めてまいりました。

そして、その包括連携協定に基づき、2020年12月24日には、「西明石駅及び駅周辺におけるまちづくりの推進に関する協定書」を締結し、両者の連携により、良質で快適なまちづくりに向けたさまざまな取組を進めてまいりました。

2024年11月には、長年の課題でありました南畑踏切の廃止と、バリアフリー対応の横断歩道橋が開通するなど、西明石駅及び駅周辺の安全性・利便性の向上に向けた取組が、着実に実を結んでいます。

そして本日、新南口改札、新しい駅ビル、駐輪場、駅前広場が完成し、西明石駅は、新たな歴史の一步を踏み出します。

このまちびらきは、単に施設が完成したという節目ではなく、行政と鉄道事業者、そして地域の皆様が、共に未来を見据え、それぞれの力を持ち寄りながら新たな価値を創造する、共創のまちづくりの象徴であると考えています。

さらに、来年夏には、西明石地域交流センター「icotto (いこっと)」とJR 西日本の社宅用地を活用したマンションの完成も予定されています。

「icotto」では、人と人が出会い、学び、つながり、新たな活動が生まれる交流拠点として、地域の皆様と共に創り育ててまいりたいと考えています。そのためにも、建設の段階から地域の皆様が準備に参加できる場を設けるとともに、開館後には、地域の皆様に運

営の一端を担っていただけるような仕組みについても検討しているところです。

西明石エリアは、新幹線や新快速が停車し、普通電車の始発駅であるという優れた交通利便性に加え、豊かな自然環境や繋がりの強い地域コミュニティという大きな強みを有しています。そこへ新たな交流と賑わいが加わることで、まちの魅力はさらに高まり、今まで以上に選ばれるまちになるものと確信しています。

明石市は、これからもJR西日本、そして地域の皆様との対話と共創を大切にしながら、「住みたい」「住み続けたい」もっとやさしいまちの実現に向けて、全力で取り組んでまいります。引き続きのお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2026年6月26日

明石市長 丸谷 聡子